

平成 30 年 11 月 27 日
内閣官房内閣広報室

G20 サミットロゴマーク等について

G20 サミットロゴマークについて、下記のとおり採用作品（最優秀作品）及び優秀作品を決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 採用作品（最優秀作品）



○制作者

牛込 幸男（うしごめ ゆきお）（東京都、54 歳）

○制作者による作品の説明

日本の象徴である富士山をモチーフにデザインしました。富士山の「頂」と「旭日」は、議長国日本から「世界の経済成長と繁栄」をもたらす象徴としました。また、富士の裾野には春の訪れ（経済成長と繁栄）を告げる桜の花びらを咲かせました。

○佐藤可士和 G20 サミットロゴマーク選考会座長評

多くの方に親しまれる富士山、桜と、堂々とした G20 2019 JAPAN のタイポグラフィ^{*}で、日本らしさを、端的にインパクトを持って発信しています。伊勢志摩サミットのロゴマークと色合いが共通しており、伊勢志摩サミットの成功を今回の G20 サミットにつなげることを表現できている作品だと思います。

^{*}「デザインにおいて、活字の書体や、字配りなどの構成および表現」（三省堂「大辞林 第三版」より）

2. 優秀作品

○制作者

磯野 直人（いその なおと）（神奈川県、44 歳）



○制作者

金澤 一興（かなざわ かずおき）（東京都、67 歳）



○制作者

小梶 博司（こかじ ひろし）（大阪府、78 歳）

